

## 資料

### 辻邦生著作文献目録 (8)

### Le répertoire des oeuvres de Kunio Tsuji

佐々木 涇\*

SASAKI Thoru

長野大学紀要第23巻第1号(通巻第86号, 2001年6月発行)に引続き、その後判明した辻邦生の著作品について以下に記す。発表順に番号をつけて整理してあるが、年月日の同じものは、著作品の表題が五十音順となっている。表題には『』をつけてゴシック体にし、初出誌とその著者、編者あるいは初出雑誌と出版社はアンダーラインを入れた。その作品が新たに収録されている場合には【収録誌】以降に記し、複数の書物に収録されている場合には、発行日順に列記した。単行本として刊行された作品は初出時の番号がつけてあり、「刊行：」の次にゴシック体にしてある。2001年4月以後の作品については、前回以降の通し番号をつけ、それ以前の作品については「追一」の後に番号をつけてある。補正の項では、新たに収録誌が発刊、もしくは判明したものについて前回までに付けられた番号にしたがって記した。訂正の項では、筆者のミス、誤植など訂正すべき箇所を、前回までに付けられた番号にしたがって記してある。

#### 【追加】

2001年4月25日(平13)

2415. 刊行：『微光の道』新潮社

2001年6月30日(平13)

2416. 刊行：『海峡の霧』新潮社

2001年4月以前の作品

1980年5月(昭55)

追-84. 『岡本太郎』『岡本太郎著作集第七巻』月報【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

1989年7月(平1)

追-85. 『時を超えた者へ』海燕【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

1992年1月(平4)

追-86. 『幻想のなかのカーニヴァル』マリー・クレール, 中央公論社【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

1994年9月(平6)

追-87. 『心の想念を文章の形で明確にすること』リテラールブックス9, メタローグ【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

---

\*教授

追-88.『南に向けて永遠の空間を飛ぶこと』リテレーブルブックス10, メタログ【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

10月

追-89.『吉田健一の世紀末』『ヨオロッパの世紀末』, 解説, 岩波文庫, 岩波書店【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

1995年4月30日(平7)

追-90.『<西行花伝>の十年』『西行花伝』付録, 新潮社【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

1996年1月(平8)

追-91.『宇野千代』『平成の女たち』【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

11月15日

追-92.『小さな短編の思い出とともに<花のレクイエム>』あとがき, 『花のレクイエム』, 新潮社【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

1997年3月(平9)

追-93.『リアリストの目のとどく限り』『井伏鱒二全集 第五巻』, 月報, 筑摩書房【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

5月

追-94.『詩歌を生きること 解説』朝日学芸文庫【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

9月

追-95.『美しき精神と葛藤の物語』婦人公論, 中央公論社【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

10月

追-96.『歴史と画家』, 『岩波講座世界歴史 第17巻』, 月報【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

12月31日

追-97.『中村真一郎氏の思い出』信濃毎日新聞社【収録誌】『海峡の霧』, 新潮社, 2001年6月30日(平13)

1998年1月(平10)

追-98.『梅原文学と現代』第5回井上靖文化賞選評【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

1999年4月(平11)

追-99.『横光利一と現実』『横光利一と川端康成展』, 図録【収録誌】『微光の道』, 新潮社, 2001年4月25日(平13)

#### 【補正】

132.『聖書からの呼び声』【収録誌2】田川建三編『聖書』日本の名随筆 別巻100号作品社1999年6月25日(平11)

『微光の道』(新潮社, 2001年4月25日)に上記以外に収録されているエッセーは以下のとおりで、発表順になっている。

1254. 『われらの時代への挽歌』
1259. 『恋の力学』
1299. 『悲劇の皇帝を通して転換期の現代を象徴』
1314. 『アレキサンドリア時代の予感』
1316. 『歌なるものの心—西行の歌と現実のかかりについて—』
1348. 『解説—夏目漱石〈門〉』
1358. 『詩的生成力について—クアンナ・カレーニナ〉を讀んだ頃—』
1363. 『極限の中 見つめる生と死』
1381. 『私のすすめる奇書—この1冊〈サンシモン公回想録〉』
1389. 『エッセーを 試 する気持ち』
1424. 『パリの古い街角から』
1460. 『現代の短篇流行の背景』(改題「居心地のいい繭の孤独」)
1486. 『物語とカトリシズムの間』
1491. 『詩とステーキの間』(改題「詩とステーキのあいだ」)
1498. 『小説を書く手』
1511. 『西行をめぐる歲月』
1516. 『山本周五郎の復権』
1525. 『書物—もう一つの現実』
1539. 『書物と暮らす至福の時』
1551. 『書物を持つという快楽』
1560. 『“枕頭の書”を持つこと』
1568. 『精神の共和国について』
1581. 『書物が書物だったとき』
1584. 『わが〈恩師〉の小説集成に寄せて』
1616. 『文学の流行を占えば』
1665. 『しなやかな知的ダンディズム』
1672. 『荷風の頃の人』
1693. 『アップダイクの書評』
1706. 『デュラスの近き デュラスの遠さ』
1735. 『アンケート回答—ラヴ・ロマンス(世界・古典)ベスト10』(改題「魅力的な女性の登場人物を中心に古典の中から」)
1786. 『乱読を重ねた旧制松本高校、寮生活時代』
1922. 『映像(イメージ)に達すること』
1923. 『小説(フィクション)の合せ鏡に浮ぶ実像(レアリティ)』
1935. 『私の好きな文庫本ベスト5』
1955. 『小説へと目ざめる過程を再認識した作品』
1968. 『ある恋の行方』
- 追—43. 『私の好きな海外ミステリー・ベスト5』(改題「私の好きなミステリー・ベスト5」)
1978. 『小説と観念の結婚』
1991. 『虫たちと歌の生命と—北杜夫〈母の面影〉』
1996. 『ルナールこの等身大の偉大さ』
- 追—44. 『横光利一からの光』
- 追—45. 『私の「本」整理術—図書整理術など不可能な、混沌、乱雑、無秩序、錯乱』(改題「図書整理術など不可能な、混沌、乱雑、無秩序、錯乱」)
2014. 『想像の地平との出会い』
2025. 『〈ドルジェル伯の舞踏会〉のマオ』
2026. 『モノオペラ〈銀杏散りやまず〉始末記』
2027. 『モノオペラ〈銀杏散りやまず〉の裏表』
2034. 『〈ディヴィッド・コパフィールド〉のドラオラとアグネス』
2037. 『〈西行花伝〉を新しい書法で』
2046. 『〈武器よさらば〉のキャサリン』
- 追—50. 『解説〈クオ・ヴァディス〉』
2057. 『〈失われた足跡〉のロサリオ』
2068. 『〈静かなるドン〉のアクシーニャ』
2073. 『愛と情念の寺院—解説』(改題「愛と情念の寺院」)
2077. 『〈魔の山〉のショーシャ夫人』(改題「『魔の山』のクラウディア・ショーシャ」)
- 追—53. 『失われた小説の根拠を求めて』
2084. 『小説空間に生きる陶醉』
2086. 『〈廻廊にて〉のアンドレ』(改題「『廻廊にて』のアンドレ・ドーヴェルニュ」)
- 追—55. 『魂の調和のための50冊』
2111. 『小説家にとっての幼少期』
2127. 『現代に響き合う歌論の吟味』
2129. 『〈夏の砦〉の支倉冬子』
2130. 『微光の道』
2135. 『〈樹の声 海の声〉の運子咲耶』
2170. 『日本恋慕の中の女性』
2210. 『〈花のレクイエム〉の行方』
2276. 『山脈が語り出すとき』(改題「山脈が語り出す時」)
2285. 『ファブリスの恋 クレリアの恋』

2292. 『<時の主人>の悲しみ』 まえがき  
 2309. 『風のトンネル』  
 2310. 『祖父辻直記の手紙』  
 2314. 『自作朗読もまた楽し笑いの偉大さ再確認』  
 (改題「自作朗読での発見」)  
 2317. 『西洋古代の光の下』  
 2328. 『黒い星の下』  
 2343. 『知的冒険と悠々たる流れと』  
 2345. 『江戸の匂い』  
 2347. 『日本の風土が物語を生む』  
 2372. 『地の霊 土地の霊』  
 2403. 『ロンサールの隠れ家』

『海峡の霧』(新潮社, 2001年6月30日)に上記【追加】に記した以外に収録されているエッセーは以下のとおりで、発表順になっている。

1255. 『スタンダールの糸』  
 1269. 『甘美な夢を追った反時代人』  
 1279. 『美の憧憬者の影』  
 1300. 『ある豊饒なダンディズムについて』  
 1321. 『ある青春のオデュッセイア』  
 1329. 『なつかしい記憶』  
 1330. 『<物の魅惑>に憑かれた友』  
 1371. 『春にパリで思ったこと』  
 1370. 『二都生活者の十年から』  
 1382. 『思索と絵画の対話』  
 1396. 『人生における<微笑>の役割』  
 1458. 『詩に生き満月の夜に死す』  
 1477. 『井上靖一詩と物語の間』  
 1478. 『空気のヴェールを見た日』  
 1484. 『物語時代の終り』  
 1490. 『ギリシャの旅のあとで』  
 1553. 『埴谷文学の根底の炎』  
 1570. 『遠く去る星雲を望む思い』  
 1593. 『古文書の怪に憑かれた人』  
 1599. 『美は不易か流行か』  
 1601. 『お喋りという贈りもの』  
 1604. 『生きるためのコート』  
 1606. 『ある時代の終り—個人主義の閉塞状況打開へ』  
 1609. 『変る美 変る時代』  
 1621. 『ささやかな音楽遍歴』  
 1623. 『時代様式と生命感と』  
 1636. 『夢殿が赤かったとき』  
 1659. 『プルーストに見る至福の味』  
 1662. 『<ふたりのクニオ>の記』  
 1680. 『永劫に回帰する私』  
 1694. 『芭蕉のなかの永遠』  
 1696. 『永遠を仰ぎみた日』  
 1698. 『インドの無時間の魅力』  
 1710. 『反語として文化を見ること』  
 1733. 『ある思い出に』  
 1796. 『赤坂慕情』  
 1801. 『現代芸術の誕生を見る感動』  
 追-72. 『アッシジー地上に映る永遠の影』  
 追-19. 『思想の地平を鳥瞰する試み』  
 1822. 『生きる「時間」の愛しさ』  
 1842. 『読者論の地平—思惟と映像のあいだで—』  
 (改題「私にとっての読者 読者にとっての私」)  
 追-23. 『実のなかの虚、虚のなかの実』  
 1912. 『わがリューマチ記』  
 1915. 『巷に雨の降るごとく』  
 1928. 『二短調ピアノ協奏曲の肖像』  
 1930. 『パリで講義をした頃』  
 追-39. 『ものぐさ太郎とものぐさ花子の物語』  
 追-40. 『外国語ゲームの遊び方』  
 追-42. 『私の好きなクラシック・レコード・ベスト3』  
 1980. 『ヴェネツィア わが愛』  
 1990. 『雲の往き来』  
 1997. 『新しいルーヴルから』  
 1999. 『上高地の秋 ジュラの秋』  
 2024. 『死者のいる夜の歌』  
 2045. 『パリのプッサン展から』  
 2047. 『プッサン展の<自画像>など』  
 2060. 『小石を投げるユゴー』  
 追-73. 『亜紀さんの絵のそばで』  
 2096. 『わが愛する調べ』  
 2107. 『言葉と存在の場に生きて』  
 追-59. 『ヴェネツィア—“水”の虚実』  
 2206. 『イタリア わが愛』

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 2221. 『壇谷雄高の巨大な闇』   | 2374. 『ヴェネツィア奇談』    |
| 2233. 『想像力のレアリティ』   | 2375. 『「学鑑」の二人の編集者』 |
| 2234. 『憂愁の中に佇む影』    | 2376. 『夜の街をさまよう』    |
| 2262. 『本を焼いたあの日』    | 2377. 『王女の脚』        |
| 2312. 『中村真一郎のサロン』   | 2386. 『現実から滲み出る思索』  |
| 2327. 『高輪暮し』        | 2391. 『西方町と兄のこと』    |
| 2349. 『小さな散歩道から』    | 2397. 『築地の方へ』       |
| 2350. 『ジルス・マリーア湖の時』 | 2402. 『伽藍に宿す慈悲』     |
| 2362. 『バルセロナの堀田善衛』  | 2404. 『コソボへの旅の記憶』   |
| 2373. 『海峡の霧』        | 2405. 『東中野の家』       |